



《主な賞歴》

2003年 4月
和歌山県環境大賞民間部門知事表彰
2003年 5月
兵庫県知事瀬戸内海環境保全厚労賞受賞
2004年 5月
環境大臣表彰
2004年 7月
全国里地里山30選表彰（読売新聞・環境省）
2006年 1月
農水省・農村環境センター田園再生復活活動表彰（全国8団体）
2006年 8月
キフニスクラブ キフニス賞受賞
2009年 2月
花王株式会社 ハートポケット俱楽部 パワーアップ事業表彰
2009年 11月
(財)国際ソロプチミスト 里山保全感謝状受賞
2010年 3月
(社)日本ユネスコ 未来遺産選定 全国10ヶ所（和歌山県内当地のみ）
2011年 4月
・国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン25周年記念受賞
・内閣総理大臣賞受賞

《ビオトープ孟子または未来投資に関するお問い合わせ》

所在地： 和歌山県海南市孟子（もうこ）不動谷
連絡先： 和歌山県海南市大野中995-2（海南市わんぱく公園内 担当： 有本）
tel 073-484-5810 (わんぱく公園)
fax 073-484-5820 (わんぱく公園)
e-mail maiko-symp@rio.odn.ne.jp (有本)
HP http://mo-ko.jp

和歌山県 特定非営利活動法人
自然回復を試みる会

ビオトープ孟子

社団法人日本ユネスコ協会連盟“プロジェクト未来遺産”登録記念

孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト
活動の目的・趣旨

環境保全

教育

生きがい

生涯現役

平成22年は、生物多様性の年と言われます。～たくさんの生き物がいることはすばらしい～
概念的にはよくわかるような気がします。しかし、とても抽象的に写る言葉でもあります。
生物多様性の概念を、第一次産業の中に投影してみると、その重要性が誰の目にも具体的に、浮き彫りになります。食の安心・安全が問われる現在、無農薬農業は再び注目を集めています。
「少しばかず虫に食われるけれどもなんとか収穫ができる」無農薬農業。

これを実現させるためには、圃場周辺の生物多様性は必須の項目です。

孟子不動谷には、無農薬農法を実現できるに充分な、豊かで多様な生物群集が存在します。

孟子不動谷を生物に溢れた美しい農村として、未来の子どもたちに託すために、皆様の力を貸しください。

未来に伝えたい地域の文化・自然遺産

団体概要

●目的・趣旨

- (1)里山自然と生物多様性の保全
- (2)教育現場とタイアップした環境教育拠点の創造
- (3)シルバー層の生きがい創り
- (4)地元農家の方々との良好な関係の樹立

●ビオトープ孟子のあゆみ

- ・1998年地元有志数名により、海南市孟子不動院那賀寺前の放置田を借用し、トンボ池(1ha)を掘削して発足
- ・2002年8月特定非営利活動法人の登記・登録完了
- ・今まで様々な委託事業、自主事業を実施し、2009年には日本ユネスコ未来遺産認定、2011年には内閣総理大臣賞を受賞

●活動紹介

1、海南市孟子不動谷の里山保全活動

- (1)無農薬稲作・畑作
- (2)菊炭炭焼き
- (3)動植物モニタリング調査活動

2、環境教育活動

- (1)人材登録
和歌山県環境生活総務課の和歌山県環境学習アドバイザに3理事(丸嶋、住野、有本)が登録。
アドバイザ活動を継続中
- (2)現地受入
周辺学校の環境教育の受入
中学生の職業体験の受入
県職員の民間体験の受入

3、指定管理

- 平成21年4月1日より、(株)丸山組と連携した「指定管理者管理運営コンソーシアム・海南市わんぱく公園」として、海南市大野中995-2にある海南市営の公園「海南市わんぱく公園」を、運営中(園長は理事・有本)

4、自然と農と暮らしの学校(仮称)設立へ向けて

里地・里山における美しい自然と伝統の農村風景、そこで営まれてきた暮らし。東日本大震災の後、人間が生きていくための伝統の技、伝統の智慧、地域資源の保全と活用が再認識されようとしています。今、先達から学びさらに後世に伝えていくことが私たちのミッションだと考えています。

投資プログラム

未来投資で孟子不動谷の豊かな自然と農村文化を100年先の未来まで引き継いでいくために、環境を指標とする動物たちと稲作水田を守ります。



歴史・文化に裏打ちされた美しい農村を未来の子どもたちに引き継ぐために

地域の夢 100年先へ

～自然豊かな里山保全と農村文化の担い手づくりに向けて～